




# 埼玉県議会だより

令和3年4月臨時会・5月臨時会  
6月定例会・7月臨時会報告号

編集・発行/埼玉県議会事務局  
©2021 埼玉県

〒330-9301  
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1  
電話 048(830)6257  
FAX 048(830)4923

「埼玉県議会」ホームページはこちら▶



令和3年7月31日(土) 発行



## 主な内容

### 1面

- ◆4月臨時会の議決の概要
- ◆5月臨時会の議決の概要
- ◆6月定例会の動き
- ◆6月定例会の議決の概要
- ◆7月臨時会の議決の概要

### 2・3面

- ◆一般質問

### 4・5面

- ◆埼玉県議会議員名簿

### 6・7面

- ◆委員会レポート
- ◆意見書・決議
- ◆主要会派から
- ◆請願

### 8面

- ◆議長と副議長に聞く
- ◆フォトコンテスト作品募集中!
- ◆県議会クイズ **プレゼント付き!**

**題字** 埼玉県立春日部女子高等学校 3年生  
中村 美陽 様

**表紙写真** 第16回埼玉県議会フォトコンテスト 入選「祈り」  
撮影者：斉藤 重利 様 撮影場所：熊谷市



右記のQRコードを読み込み、アプリ「COCOAR」をダウンロードして、上の写真にスマートフォンをかざすと、フォトコンテストの他の入賞作品をご覧になれます。  
QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。

iPhone用



Android用



県議会マスコット「ポッポ」

## 6月定例会の動き

6月14日(月)から7月2日(金)までの19日間にわたり開かれました。

### 6月14日 開会日

知事提出議案について、知事から提案説明が行われました。

### 6月18日・21日～24日 一般質問

15人の議員が質疑・質問を行い、活発な論議が行われました。(2・3面)  
6月18日には、知事追加提出議案について知事から提案説明が行われました。同議案は急を要するため、同日中に常任委員会で審査が行われ、委員長報告を経て、討論・採決が行われました。

### 6月18日・28日 常任委員会

補正予算・条例などの議案および請願の審査などが行われました。(6面)

### 6月29日・30日 特別委員会

付託案件の審査が行われました。(6面)

### 7月2日 閉会日

各委員会の委員長報告を受けて討論・採決が行われました。



採決の様子

## 6月定例会の議決の概要

- 知事提出議案
  - 令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第6号)歳入歳出予算補正額 121億498万6千円
    - ・まん延防止等重点措置等により経営に影響を受けた県内事業者を支援する経費
    - ・高齢者等が入所する施設の職員を対象としたPCR検査の実施に要する経費
  - 令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第7号)(急施)歳入歳出予算補正額 488億8,112万1千円
    - ・6月21日からのまん延防止等重点措置等に伴う飲食店及び大規模施設等への感染防止対策協力金支給事業の実施に要する経費
    - ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給に要する経費
  - 埼玉県屋外広告物条例の一部を改正する条例 など15件を可決、2件に同意
- 議員提出議案
  - 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の地方への速やかな交付を求める意見書
  - 国産ワクチン・治療薬等の製造拠点の県内誘致を求める決議 など14件を可決

## 7月臨時会の議決の概要

- 知事提出議案 **7月9日開催**
  - 令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第8号)歳入歳出予算補正額 683億6,781万5千円 の1件を可決

## 4月臨時会の議決の概要

- 知事提出議案 **4月27日開催**
  - 令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第3号)歳入歳出予算補正額 24億6,903万1千円 の1件を可決

## 5月臨時会の議決の概要

- 知事提出議案 **5月11日開催**
  - 令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第4号)歳入歳出予算補正額 272億332万7千円 の1件を可決
- 議員提出議案
  - 新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置等の制度設計における協議プロセスの国民への明確な発信等を求める意見書の1件を可決

## 5月31日開催

- 知事提出議案
  - 令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第5号)歳入歳出予算補正額 509億2,571万3千円 の1件を可決
- 議員提出議案
  - 新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置等における事業者への支援措置の充実等を求める意見書
  - 新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置等における事業者への支援措置の充実等を求める決議 の2件を可決



# 一般質問

6月定例会の一般質問は、6月18日から行われました。15人の議員が質疑・質問を行い、活発な論議が行われました。

6月18日(金曜日)





町田皇介(民主フォーラム) 岡村ゆり子(県民) 日下部伸三(自民)

6月21日(月曜日)





守屋裕子(共産党) 深谷顕史(公明) 宮崎吾一(自民)

6月22日(火曜日)





関根信明(自民) 八子朋弘(県民) 高橋稔裕(自民)

## インフラ

### 中小流域下水道の将来を見据えた経営基盤の強化

**Q** 古利根川流域下水道の維持管理負担金単価は中川流域下水道と比べ大きな格差がある。令和4年度に負担金の改定が予定されているが、経営環境はさらに厳しくなることが予想される。そこで、流域下水道の格差是正に向けたこれまでの取り組みと今後の取り組みについて伺う。

**A** 格差是正に向け、中小流域の下水汚泥を大規模流域で一括処理したり、農業集落排水を接続したり広域化・共同化を進めた。また太陽光発電の売電益を累積赤字に補てんした。今年中川水循環センターで全国最大級の設備が運用され、そのバイオガス売却益の活用を考えている。

### 架け替えが決定しているJR川越線荒川橋りょうの複線化仕様について

**Q** JR川越線荒川橋りょうの架け替えが決まっている。5者協議会の調査(※1)の委託業者が決定したが、この調査項目に橋りょう全体を複線化仕様にした建設費用の算出は入っているのか。また、橋りょうの土台・基礎だけを複線化仕様にした場合はどうか。

**A** この調査では複線化仕様での橋りょうの形状、課題の整理や事業手法等について分析・検討を想定している。建設費用については概略設計も無くルートも決まっていないので、いずれの場合も積算は困難である。そこで、他の設計事例を参考におおまかなコスト比較を実施する。

## 活力アップ

### eスポーツ(※2)の推進組織体制(※3)について

**Q** eスポーツは新しい分野であるため、既存の行政組織に収まらず担当部署がはっきりしない。専門的な分野なため、連携体制が構築できない自治体は企業との提携が進まない。eスポーツに取り組み姿勢を明確にし、窓口となる部署をはっきりさせる必要があると考えるがどうか。

**A** eスポーツはスポーツ分野だけでなく観光や経済など多面的な要素を含むため、各分野の有用性を生かした取り組みや連携が必要である。事業者や県民のニーズに応えられるよう、各担当分野からの多角的な視点や関係団体とのつながりを生かし、組織横断的な体制を構築していく。

### 埼玉版スーパー・シティプロジェクト(※3)「コミュニティに特化した拠点づくり」

**Q** 高齢化の進む地域では地域コミュニティの構築が課題となる。そこで、地域の実情に応じて高齢者、障害者、子育て、就労などの支援を集積した魅力的な拠点をつくることが考えられる。この拠点づくりは、埼玉版スーパー・シティになると考えるが所見を伺う。

**A** まさにこれは、プロジェクトの要素である「コンパクト」の「人々が集まり交流する、地域に開かれた拠点の形成」に合致する。これにデジタル技術の活用などの「スマート」、災害への対処などの「レジリエント」の二つの要素がそろえば要件を満たすと考える。

## 福祉

### ヤングケアラー支援のさらなる推進について

**Q** ヤングケアラーはまだまだだ認知されていない。今年度、小学4年生から高校3年生までの全児童生徒、教職員に向け、ヤングケアラー支援のためのハンドブックが作成・配布される。ハンドブックで適切な知識を周知し、社会全体で支援するという目的をどう果たしていくのか伺う。

**A** ヤングケアラーである児童生徒自身には、ハンドブックを通じて相談できる人や窓口の存在を周知していく。教職員にはヤングケアラーは身近な存在であるという認識の下、児童生徒に指導することが求められる。ハンドブックの活用方法を具体的に示し積極的な活用を促す。

### 新型コロナウイルス関連 DV相談増加への対応 多様な相談体制の整備について

**Q** 本県における令和2年度のDV相談件数が前年度比約1.2倍の増加となった。政府の「コロナ下の女性への影響」と課題に関する研究会報告書にある通り、各世代にアプローチできる多様な相談方法を用意する必要があり、県内のDV相談体制とその周知状況について伺う。

**A** 本県では配偶者暴力相談支援センター(※5)が20市に設置され、被害者からの相談や自立支援に取り組み、県警察本部や国の24時間受付の電話相談やSNSなど、多様な相談体制が整備されている。また、広報紙やホームページ、テレビ、新聞など多様な媒体で周知を図っている。

### 身体障害者補助犬の入店拒否等を解消するための周知活動と職員研修、障害者教育等について

**Q** 身体障害者補助犬とユーザーの入店拒否等に関する相談が後を絶たない。県で周知・啓発活動を行っているが、継続性が肝心である。新たな取り組みを含め周知活動を行うとともに、県の職員研修、障害者と補助犬に関する学校教育を継続的に行っていただきたい。所見を伺う。

**A** 障害者がパートナーである補助犬と地域で安心して生活できることが重要。そこで広報や啓発イベントで理解の促進を図り、飲食店に対しては個別の改善指導も行う。県の職員研修や学校教育の場でも理解を深めている。民間の奉仕団体等と連携しながら更なる普及促進に努める。

### 新型コロナウイルス関連 学生の貧困への緊急対策を求める

**Q** 新型コロナウイルス感染症により学生から「アルバイトが減った」という声が寄せられている。県で学生支援を行う部署横断的な組織を立ち上げてほしい。また「学びの継続のための学生支援緊急給付金」の制度拡充など、国に対し学生支援策を要望すべきと思うが見解を伺う。

**A** コロナ禍のようなケースでは、専門部署の新設より、組織横断的に施策を検討するのが適切と考える。今年度、企画財政部と産業労働部が、県実施事業で県内大学生を雇用する仕組みを作った。また、学生が安心して学生生活を送れるよう国へ支援を積極的に要望する。

### 児童養護施設出身者への支援について

**Q** 県では、児童養護施設出身者に向け多様な支援メニューを用意しているが、利用者増加に向け、どのようなアプローチを行っているのか。また、自立支援資金貸付事業(※4)において貸付を給付にできないか。さらに、支援メニューが実際の進学率や仕事の定着率に与えた成果を伺う。

**A** 施設退所時に支援メニューなどをまとめた冊子を渡し、施設に対しても退所後のサポートを依頼している。貸付事業については現在完全な給付型とするよう国に強く要望している。また、令和元年度進学率は28.6%と目標を上回り、退所後3年の離職率は初めて5割を切った。

### 県有施設を利用したクワイエットアワーの導入について

**Q** 聴覚や視覚に過敏症状を持つ人が過剰に敏感な音や照明を低減するクワイエットアワーという取り組みがある。知事が常々言っている「誰一人取り残さない」という観点からも、さいたま水族館など県有施設における導入を検討できないか所見を伺う。

**A** 大きな音や人混みが苦手な家族がいても楽しく過ごせ、発達障害への理解が進むなど効果がある。課題を整理し、さいたま水族館など県有施設での導入を前向きに検討する。また、クワイエットアワーの意義を広く周知し、商業施設の先進事例の紹介など積極的な情報発信を行う。



本会議の様子はインターネット中継でご覧になれます。下のQRコードからアクセスできます。



本会議の様子

### その他の主な質疑・質問

- 新型コロナウイルス感染症対策について 優先順位・地域制限のない接種券を配布すべき
- 一時保護所の在り方について 入所期間を短縮させるための取り組み
- 新型コロナウイルスワクチン接種について ワクチン接種の有無による差別等への対応
- 家庭学習におけるICT機器の活用について
- 県立学校体育館におけるエアコン設置訓練の実施を
- 子どもの最善の利益を求め児童虐待の解決を 家族の再出発に向けて保護者の支援強化を
- 新型コロナウイルス感染症拡大の波を未然に防ぐために
- 県内病床使用率ひっ迫に備えた広域的な支援協定の締結について
- 県庁舎の在り方検討の進捗について 本庁舎建替への方向性
- 移住促進とサテライトオフィス・テレワークの推進
- 多胎児世帯に対する支援と環境整備について
- 地方税財源の確保について～知事のリーダーシップ～
- デジタルガバメントのアップデートを デジタル庁発足に際し人事派遣を
- ケアラー支援の普及啓発について
- さらなる広域行政の推進について 県内のごみ処理の広域化

### 用語解説

- ※1 **5者協議会の調査**  
JR川越線荒川橋りょうの複線化仕様での架け替えに関して検討するため、5団体(さいたま市、川越市、埼玉県、国土交通省、JR東日本)により協議会が設置されている。協議会により、複線化の実現に向けて橋りょう架け替えの技術的な課題や方策の可能性に関して行われる調査のこと。
- ※2 **eスポーツ**  
「エレクトロニック・スポーツ」の略。コンピューターゲームやテレビゲームを用いた対戦型ゲームなどをスポーツ競技として捉える際の名称。
- ※3 **埼玉版スーパー・シティプロジェクト**  
超少子高齢社会のさまざまな課題に対応するため、持続可能なまちづくりに市町村とともに取り組むプロジェクト。必要な拠点が集積した魅力的な拠点を構築する「コンパクト」、新技術の活用などにより先進的な共助を実現する「スマート」、誰もが安心して暮らし続けられる持続可能な地

- 域を形成する「レジリエント」の3つを要素とする。
- ※4 **自立支援資金貸付事業**  
進学や就職により、埼玉県内の児童養護施設などを退所(里親委託の解除)した方が自立に必要な資金(生活費や家賃相当額など)を借りることができる事業。
- ※5 **配偶者暴力相談支援センター**  
「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」により、DV被害者支援の中心的な役割を担う。
- ※6 **官民連携プラットフォーム**  
埼玉県SDGs官民連携プラットフォームのこと。「ワンチームで埼玉版SDGsを推進する」という目的に賛同する企業・団体などが随時入会できる官民連携の場。
- ※7 **SDGsパートナー登録制度**  
持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みを自ら実施、公表する県内企業や団体などを「埼玉県SDGsパートナー」として登録する制度。
- ※8 **流域治水**  
国、県、市町村、企業、住民など、あらゆる関係者により流域全体で水害を軽減させる対策。



### 知事の県政運営方針

**Q** 埼玉版SDGsを推進するため全庁で推進体制を整備し、検討されている。豊かな水と緑に恵まれた埼玉県には持続可能な開発を実現できる将来性がある。「誰一人取り残さない」を理念とする埼玉版SDGsが2年目を迎えるにあたり、主な取り組みの成果と今後の展開を伺う。

**A** 官民連携プラットフォーム(※6)やSDGsパートナー登録制度(※7)が評価され、今年5月、先進的にSDGsを進める自治体「SDGs未来都市」に選定された。今年度から新たにアプリを活用し、プッシュ型の情報発信を行いSDGsの取り組みと精神を全県に浸透させていく。

### 保健・医療

**Q** 65歳未満の方へのワクチン接種を進めるに当たり、副反応で会社を休まざるを得ないことを警戒して接種を見合わせる可能性もある。ワクチン接種に対する不安を和らげるため、県が副反応に関する正確な情報を収集し、迅速に県民や企業に発信するべきと考えるが見解を伺う。

**A** ワクチンの副反応等に関する情報については国からの情報やこれまでの知見を県の広報紙やホームページに掲載し提供に努めている。また経済団体等を通じて、企業にも情報を提供するとともに、従業員のワクチン接種への配慮を周知し、希望者が早く接種できる環境整備に努める。

### 新型コロナウイルス関連

**Q** 新型コロナウイルス感染症の拡大により外出時のマスク着用は新しい生活様式となった。しかし発達障害や感覚過敏などマスクの着用が困難な方がおり、周囲からの厳しい視線や心無い批判を受けることがある。こうした方々が生活しやすいよう、周知を行うべきと考えるがどうか。

**A** マスクの着用が困難な方への心無い批判をなくするため、多くの県民に実態を知ってもらうことが重要である。県としては、広報紙やホームページなどの媒体を活用して周知を図り、思いやりのある行動を促していく。障害などによる差別のない共生社会の実現に向け取り組んでいく。

### 新型コロナウイルス関連

**Q** 医療機関に対し、感染対策に精通した医師等トリーナーを派遣する事業を実施しているが、事業の実績及び病床確保への貢献などの効果をどう捉えているか。また派遣のみにとどまらず、他医療機関から医師や看護師を短期間受け入れて研修を行うなど事業を拡充してはどうか伺う。

**A** 事業開始の5月からこれまで、5病院に医師等を派遣し、中等症および軽症病床を14床確保した。受け入れ研修は、コロナ対応の技術に長けたスタッフの対応を学べるため有意義である。実践的に学ぶ研修とするため、受講側、指導側双方の意見を伺い、実施体制を検討する。

### 災害対策

**Q** 利根川と渡良瀬川の合流地点で施設能力を超えた大氾濫が発生した場合、東京や埼玉県東部への甚大な被害が予想される。近年の気候変動により水害の激甚化・頻発化が懸念される状況下で、過去の被害を繰り返さないため、今後の治水対策をどう考えるのか。

**A** 全国的な水害の状況をみると、施設能力を超える洪水の発生回数が増える認識を持つことが重要。防災・減災が主流となる社会の形成を目指す流域治水(※8)の展開を加速する対策に取り組んでいる。また国に対し、本県の治水安全度向上のため河川事業の推進を要望していく。

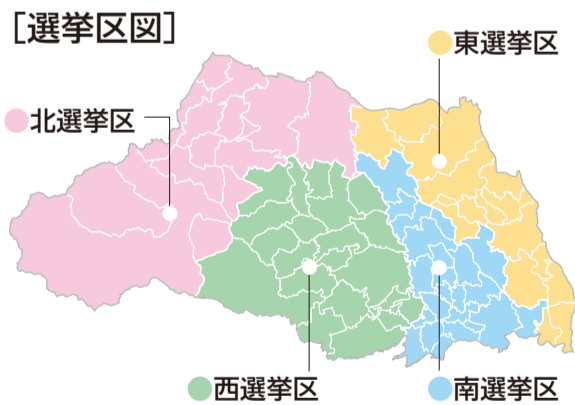


# 埼玉県議会

# 議員名簿

定数93・選挙区(52)別  
立候補届け出順に掲載しています。

<b>南第2区 川口市(定数7)</b> 村岡 正嗣 共産党 萩原 一寿 公明 欠員		<b>南第1区 草加市(定数3)</b> 木下 博信 自民 蒲生 徳明 公明 欠員	
<b>南第6区 さいたま市見沼区(定数2)</b> 欠員		<b>南第5区 さいたま市大宮区(定数1)</b> 藤井 健志 自民	
<b>南第13区 上尾市・伊奈町(定数3)</b> 町田 皇介 民主フォーラム 石渡 豊 公明 秋山 もえ 共産党		<b>南第4区 さいたま市北区(定数2)</b> 高木 真理 民主フォーラム 関根 信明 自民	
<b>南第21区 朝霞市(定数2)</b> 醍醐 清 県民		<b>南第12区 さいたま市岩槻区(定数1)</b> 小島 信昭 自民	
<b>南第20区 戸田市(定数2)</b> 金野 桃子 県民		<b>南第11区 さいたま市緑区(定数1)</b> 高橋 政雄 自民	
<b>西第4区 狭山市(定数2)</b> 本木 茂 自民		<b>南第19区 蕨市(定数1)</b> 須賀 敬史 自民	
<b>西第3区 飯能市(定数1)</b> 内沼 博史 自民		<b>南第18区 新座市(定数2)</b> 安藤 友貴 公明	
<b>西第2区 入間市(定数2)</b> 欠員		齊藤 正明 自民	
<b>西第11区 鶴ヶ島市(定数1)</b> 長峰 宏芳 自民		<b>西第8区 日高市(定数1)</b> 小谷野五雄 自民	
<b>西第10区 坂戸市(定数1)</b> 木下 高志 自民		<b>西第7区 川越市(定数4)</b> 深谷 顕史 公明	
<b>北第4区 深谷市・美里町・寄居町(定数3)</b> 江原久美子 県民		<b>北第3区 本庄市・神川町・上里町(定数2)</b> 飯塚 俊彦 自民	
<b>東第4区 久喜市(定数2)</b> 石川 忠義 県民		<b>東第3区 加須市(定数2)</b> 千葉 達也 自民 高橋 稔裕 自民	
<b>東第8区 越谷市(定数4)</b> 辻 造司 民主フォーラム		浅井 明 自民 山本 正乃 民主フォーラム	



会派別所属議員数	
会派名(略称)	議員数
埼玉県議会自由民主党議員団(自民)	49人
無所属県民会議(県民)	14人
埼玉民主フォーラム(民主フォーラム)	9人
埼玉県議会公明党議員団(公明)	9人
日本共産党埼玉県議会議員団(共産党)	6人
無所属改革の会(改革)	1人
無所属	1人
計	89人 (欠員4人)

令和3年7月20日現在



<p>南第3区 さいたま市西区(定数1)</p>  <p>日下部伸三 良民        文政委員        人材育成・文化・スポーツ振興特別委員        地方創生・行政改革特別委員</p>	<p>南第2区 川口市(定数7)</p>  <p>塩野正行 公明        議会運営委員長        総務・民生生活委員        人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</p>	 <p>立石泰広 良民        文政委員        少年・高齢福祉社会対策特別委員        新型コロナウイルス感染症対策特別委員</p>	 <p>岡村ゆり子 県民        企画財政委員        人材育成・文化・スポーツ振興特別委員        図書室委員</p>	 <p>白根大輔 民主フォーラム        産業労働企業委員長        危機管理・大規模災害対策特別委員        図書室副委員長</p>	 <p>永瀬秀樹 良民        産業労働企業委員長        危機管理・大規模災害対策特別委員        図書室副委員長</p>
<p>南第10区 さいたま市南区(定数2)</p>  <p>木村勇夫 民主フォーラム        議会運営委員        県土都市整備委員        少年・高齢福祉社会対策特別委員</p>	 <p>宮崎栄治郎 良民        議会運営委員        警察危機管理防災委員        人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</p>	<p>南第9区 さいたま市浦和区(定数2)</p>  <p>浅野目義英 無所属        警察危機管理防災委員        公社事業対策特別委員        図書室委員</p>	 <p>高木功介 良民        警察危機管理防災委員        公社事業対策特別委員        図書室委員</p>	<p>南第8区 さいたま市桜区(定数1)</p>  <p>荒木裕介 良民        産業労働企業委員        公社事業対策特別委員        新型コロナウイルス感染症対策特別委員        監査委員</p>	<p>南第7区 さいたま市中央区(定数1)</p>  <p>宮崎吾一 良民        県土都市整備委員        経済・雇用対策特別委員</p>
<p>南第18区 新座市(定数2)</p>  <p>平松大佑 良民        環境農林委員        地方創生・行政改革特別委員</p>	<p>南第17区 志木市(定数1)</p>  <p>鈴木正人 良民        警察危機管理防災委員        人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</p>	<p>南第16区 鴻巣市(定数2)</p>  <p>並木正年 良民        議会運営委員        文政委員        経済・雇用対策特別委員        新型コロナウイルス感染症対策特別委員</p>	 <p>中屋敦慎一 良民        議会運営委員        文政委員        経済・雇用対策特別委員        新型コロナウイルス感染症対策特別委員</p>	<p>南第15区 北本市(定数1)</p>  <p>新井一徳 良民        県土都市整備委員        危機管理・大規模災害対策特別委員        監査委員</p>	<p>南第14区 桶川市(定数1)</p>  <p>岡地優 良民        副議長        文政委員</p>
<p>西第1区 所沢市(定数4)</p>  <p>岡田静佳 良民        議会運営委員        福祉保健医療委員長        危機管理・大規模災害対策特別委員        新型コロナウイルス感染症対策特別委員</p>	 <p>水村篤弘 民主フォーラム        産業労働企業委員        少年・高齢福祉社会対策特別委員        新型コロナウイルス感染症対策特別委員</p>	 <p>西山淳次 公明        文政委員        少年・高齢福祉社会対策特別委員</p>	 <p>柳下礼子 共産党        文政委員        少年・高齢福祉社会対策特別委員</p>	<p>南第22区 和光市(定数1)</p>  <p>井上航 県民        環境農林委員        公社事業対策特別委員</p>	<p>南第21区 朝霞市(定数2)</p>  <p>松井弘 良民        産業労働企業副委員長        危機管理・大規模災害対策特別委員</p>
<p>西第7区 川越市(定数4)</p>  <p>中野英幸 良民        県土都市整備委員        経済・雇用対策特別委員</p>	 <p>守屋裕子 共産党        環境農林委員        公社事業対策特別委員        図書室委員</p>	 <p>山根史子 民主フォーラム        文政委員        危機管理・大規模災害対策特別委員</p>	 <p>八子朋弘 県民        文政委員        危機管理・大規模災害対策特別委員</p>	<p>西第5区 ふじみ野市・三芳町(定数2)</p>  <p>渡辺大 良民        福祉保健医療副委員長        人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</p>	<p>前原かつえ 共産党        総務・民生生活委員        地方創生・行政改革特別委員        図書室委員</p>
<p>北第3区 本庄市・神川町・上里町(定数2)</p>  <p>齋藤邦明 良民        警察危機管理防災委員        地方創生・行政改革特別委員</p>	<p>北第2区 横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町・東秩父村(定数1)</p>  <p>阿左美健司 良民        県土都市整備委員        自然再生・循環社会対策特別委員</p>	<p>北第1区 秩父市(定数1)</p>  <p>新井豪 良民        文政委員        自然再生・循環社会対策特別委員</p>	<p>西第13区 滑川町・嵐山町・小川町・ときがわ町(定数1)</p>  <p>小久保憲一 良民        福祉保健医療委員        少年・高齢福祉社会対策特別委員        監査委員</p>	<p>西第12区 東松山市・川島町・吉見町(定数2)</p>  <p>横川雅也 良民        総務・民生生活委員        自然再生・循環社会対策特別委員        新型コロナウイルス感染症対策特別委員</p>	<p>松坂喜浩 県民        議会運営委員        福祉保健医療委員        地方創生・行政改革特別委員</p>
<p>東第2区 羽生市(定数1)</p>  <p>諸井真英 良民        環境農林委員        人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</p>	<p>東第1区 行田市(定数1)</p>  <p>柿沼貴志 良民        県土都市整備委員        自然再生・循環社会対策特別委員</p>	<p>欠員</p>	<p>北第5区 熊谷市(定数3)</p> <p>田並尚明 民主フォーラム        警察危機管理防災委員        地方創生・行政改革特別委員</p>	<p>杉田茂実 県民        企画財政委員        危機管理・大規模災害対策特別委員        図書室委員</p>	<p>神尾高善 良民        議会運営委員        福祉保健医療委員        自然再生・循環社会対策特別委員        図書室委員</p>
<p>東第7区 春日部市(定数3)</p>  <p>秋山文和 共産党        企画財政委員        少年・高齢福祉社会対策特別委員        図書室委員</p>	 <p>白土幸仁 良民        県土都市整備委員        自然再生・循環社会対策特別委員</p>	 <p>権守幸男 公明        警察危機管理防災副委員長        地方創生・行政改革特別委員</p>	<p>東第6区 白岡市・宮代町(定数1)</p>  <p>岡重夫 県民        産業労働企業委員        経済・雇用対策特別委員        図書室委員</p>	<p>東第5区 蓮田市(定数1)</p>  <p>山口京子 良民        文政副委員長        少年・高齢福祉社会対策特別委員        図書室委員</p>	<p>東第4区 久喜市(定数2)</p>  <p>梅澤佳一 良民        総務・民生生活委員        危機管理・大規模災害対策特別委員</p>
<p>東第12区 吉川市・松伏町(定数1)</p>  <p>松澤正 良民        企画財政委員        人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</p>	<p>東第11区 幸手市・杉戸町(定数1)</p>  <p>吉良英敏 良民        環境農林委員        公社事業対策特別委員</p>	<p>東第10区 三郷市(定数2)</p>  <p>逢澤圭一郎 良民        環境農林委員        地方創生・行政改革特別委員</p>	 <p>美田宗亮 良民        文政委員長        人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</p>	<p>東第9区 八潮市(定数1)</p>  <p>宇田川幸夫 良民        議会運営副委員長        総務・民生生活委員        経済・雇用対策特別委員</p>	<p>東第8区 越谷市(定数4)</p>  <p>橋詰昌晃 公明        議会運営委員        環境農林副委員長        少年・高齢福祉社会対策特別委員        図書室委員</p>



# 委員会レポート *report*

6月定例会では、6月18日、28日に常任委員会を開き、補正予算・条例などの議案および請願の審査などを行いました。審査の結果、議案15件を原案の通り可決すべきものと決定しました。また、請願1件を採択、1件を趣旨採択、1件を不採択とすべきものと決定しました。6月29日、30日には特別委員会を開き、付託案件の審査を行いました。

## 議会運営委員会

6月7日と定例会中の4日間、会議を開き、本会議を円滑かつ効率的に進行するため、議事日程、質疑質問者の人数、採決の方法や順序などについて会派間の協議を行いました。



宇田川幸夫  
副委員長



立石泰広  
委員長



江原久美子  
副委員長



## 特別委員会

### 自然再生・循環社会対策特別委員会

河川の水質保全の推進について審査

### 地方創生・行財政改革特別委員会

地方分権改革、魅力ある地域づくりについて審査

### 公社事業対策特別委員会

県の公社指導について、(公社)埼玉県農林公社、埼玉県土地開発公社および(公財)埼玉県下水道公社における改革の取り組みについて審査

### 少子・高齢福祉社会対策特別委員会

障害者の自立支援について審査

### 経済・雇用対策特別委員会

埼玉県経済の動向と経済・雇用対策について審査

### 危機管理・大規模災害対策特別委員会

大規模災害に対する事前の備えについて審査

### 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

教育改革について審査

### 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

まん延防止等重点措置区域指定に対する根拠を踏まえた総合的判断などについて審査

## 常任委員会

### 企画財政委員会

令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第6号)について  
地域公共交通安心運行支援事業費

**Q** 事業者は既に感染予防対策を講じていると思うが、既に実施している部分にも支援金は給付されるのか。  
**A** 感染防止対策への支援という観点から、対策を適切に講じている場合も含めて給付の対象としたいと考えている。具体的には、今年4月以降の対策を対象にしたいと考えている。

### 産業労働企業委員会

令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第6号)について  
酒類販売事業者への支援

**Q** 国の月次支援金は、前年または前々年と比べて、売上減少率が50%以上の事業者を対象としているが、県はなぜ30%以上まで対象を広げて設定したのか。  
**A** 売上減少率50%以上の事業者は全体の27%であるが、30%以上まで広げると全体の65%が対象となり、より多くの事業者を支援できるように設定した。

### 総務県民生活委員会

埼玉県税条例の一部を改正する条例について

**Q** 今回は小規模で分散しているエネルギーをとりまとめて供給する特定卸供給事業に対する課税方式を規定する改正だが、特定卸供給事業の本県への参入見込みはどの程度か。  
**A** 令和4年度からの導入に向けて国の審議会で詳細な制度設計を行っている。国からは現時点で参入見込みを立てるのは難しいと伺っている。

### 県土都市整備委員会

埼玉県屋外広告物条例の一部を改正する条例について

**Q** 屋外広告物に関する点検義務違反の罰則は今後、検討するのか。  
**A** 新たな罰則は設けられないが、許可を要する屋外広告物が点検されていない場合、許可の更新を受けられない。許可の更新を受けずに当該広告物を放置した場合は、現行定められている罰則が適用される。

### 環境農林委員会

令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第6号)について  
新市場開拓に向けた水田リノベーション事業

**Q** 新型コロナウイルス感染症の影響で米が余り、米価が下落している中で、この事業は影響を受けている農家にとどのよう効果をもたらすのか。  
**A** 本事業は、地元の生産者と実需者との連携を事業要件として計画している。これにより、農家は実需者へ安定した価格で出荷することができ、経営の安定につながる可能性がある。

### 文教委員会

埼玉県立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例について

**Q** 公務災害補償における介護補償とは何か。また改正点および改定額の根拠は何か。  
**A** 公務災害による障害のため、常時または随時の介護が必要になった学校医などに支給するもの。今回の改正では、条例で定める月額の上限額および定額を増額する。国家公務員災害補償法に規定する補償額と同程度となるよう定めている。

### 福祉保健医療委員会

令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第6号)について  
生活困窮者の支援の強化

**Q** 相談支援員を増員することのことだが、具体的にどのような相談を行っているのか。  
**A** 自立相談の窓口では、生活の困窮や失業など今後の生活について相談に来る方が多い。支援に当たっては、相談内容をよく聞き取った上で、本人の希望を踏まえた支援プランを作成し、寄り添った支援をしている。

### 警察危機管理防災委員会

コロナ禍での特殊詐欺、ドメスティックバイオレンス(DV)、児童虐待に関する本県の状況と対策について

**Q** コロナ禍で在宅時間が増加が考えられるが、本県の被害状況はどうか。  
**A** コロナ2年の特殊詐欺の認知件数は1026件で、前年に比べ29.7%の減少となった。DVの相談件数については5999件で、前年に比べ16.2%増加し過去最多となった。

## 意見書・決議

意見書 12 件を可決し、国に提出しました。また、決議 1 件を可決しました。(●は全会一致での可決、○は賛成多数による可決)

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の地方への速やかな交付を求める意見書
- 北朝鮮による全ての拉致被害者等の即時一括帰国を求める意見書
- 警察官の増員を求める意見書
- 国産ワクチン・治療薬等の開発・生産についての早急な体制整備を求める意見書
- 医療従事者等への更なる支援を求める意見書
- 産後ケア事業の新たな取組の推進を求める意見書

- カーボンニュートラル実現に向け、再生可能エネルギーの比率を高める次期エネルギー基本計画の策定を求める意見書
- 選択的夫婦別姓制度の導入に向けた国会審議の推進を求める意見書
- 中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議等を求める意見書
- こども庁創設に関する意見書
- 新型コロナウイルス感染症対策の更なる強化を求める意見書
- 学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書
- 国産ワクチン・治療薬等の製造拠点の県内誘致を求める決議



# 主要会派から ～6月定例会～



埼玉県議会自由民主党議員団  
団長 小島 信昭

今定例会では、わが党から9人の議員が登壇し、皆さまの暮らしに関わる県政の重要課題について、62項目にわたり質疑・質問を行いました。

まず、最重要課題である新型コロナウイルス感染症対策について、PCR検査やワクチン接種に関すること、次の感染拡大の波への備えなどをたどりました。

その他の医療・福祉に関しては、保健所の機能強化策や不妊治療の助成制度の拡充、自殺防止対策、ケアラー支援などについて質問いたしました。

また、県庁のデジタル化やオープンデータの活用、広域行政のさらなる推進など、埼玉の未来を切り開くための質問も行いました。

この他にも、森林の循環利用の推進や川の再生事業、見沼田んぼの保全・活用といった埼玉の自然を守り育てるための方策や、JR川越線の橋りょう複線化仕様についてなど、多岐にわたり質問をいたしました。

私たち自由民主党議員団は、県民の皆さまの声を丁寧に向いながら、埼玉県の発展のために今後も主力で取り組んでまいります。



無所属県民会議  
代表 岡 重夫

今定例会では、補正予算の中でわが会派が知事に要望していた「売り上げが激減した酒類販売事業者への支援の上乗せと範囲拡大」が盛り込まれました。その他、感染拡大防止策としてワクチン接種体制の強化や、生活に困っている人々への支援のための予算などすべての議案が可決しました。

一般質問では岡村ゆり子議員が、一時保護所の在り方、離婚前後の支援と養育費確保についてなど、また、八子朋弘議員は、県内病床利用率ひっ迫に備えた広域的支援協定の締結、県立高校の南北格差是正についてなどの質問・提言を行いました。

そして、「選択的夫婦別姓制度の導入に向けた国会審議の推進を求め意見書」については、わが会派は反対しましたが可決されました。

また、わが会派が提案した「中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議等を求める意見書」については、賛成多数で可決されました。

これからも、県民の声を傾け会派が一丸となって活動を続けてまいります。



埼玉民主フォーラム  
代表 田並 尚明

6月定例会では、まん延防止等重点措置などによる影響を受けている事業者支援に係る経費、ワクチン接種や感染防止対策の実施に要する経費、および生活困窮者への支援に係る経費等を含む合計約609億8600万円の補正予算が可決されました。

一般質問では、山根史子議員が、双子等の多胎児世帯に対する支援と環境整備についてなど8項目、町田皇介議員が、新型コロナウイルスワクチン接種や貸切バス事業者への支援、県有施設を利用したクワイエットアワーの導入についてなど10項目について質問しました。それぞれ県民の皆さまの生の声を議会に届けることができました。

また会派として、ワクチン接種券なしで接種可能な体制づくり、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者に対する協力金等、早急な通学路の危険箇所総点検の3項目について知事に要望しました。特に通学路の危険箇所の総点検については、計画を前倒しする旨の回答をいただきました。

今後も県民の皆さまの生活と生命を守るため、会派一丸となり皆さまの声を一つでも多く議会に届けてまいります。



埼玉県議会公明党議員団  
団長 西山 淳次

今定例会は新型コロナウイルス対策の補正予算をはじめ、各種の条例改正案や高速道路料金改正案が可決されました。特に補正予算には、わが党が求めてきた県の集団接種会場の増設予算が盛り込まれたことは大きな成果と考えます。

一般質問には深谷顕史議員が登壇し、ワクチン接種の加速化をはじめ、感染症専門医等のトレーナー派遣事業、飲食店の感染防止対策強化など、医療現場に取材して得た具体的なコロナ対策を提案しました。また、同議員は県立学校体育館のエアコン設置について、県がエアコン本体の設置ではなく電源の整備のみを行っていることを疑問視し、「設置訓練を夏の時期に行い、冷房効果についても検証するべき」と訴え、教育長は訓練実施とデータ計測を約束しました。

加えて6月初旬に会派として知事に要望していた「生理の貧困対策」についても、県立学校への生理用品の配備やフードパントリー、市町村を通じた支援策が迅速に実施されることになりました。

今後も感染防止と社会経済回復の両立を目指し、全力で取り組んでまいります。



日本共産党埼玉県議員団  
団長 柳下 礼子

本定例会には高齢者・障害者入所および通所施設の職員へのPCR検査拡大などが盛り込まれた2件の一般会計補正予算が出され、採択されました。

またわが党も紹介議員となった「選択的夫婦別姓制度についての意見書を国に提出することを要望する請願」が採択され、「カーボンニュートラル実現に向け、再生可能エネルギーの比率を一層高める2030年エネルギー基本計画の改定をされるよう、国への意見書提出を求める請願」は趣旨採択されました。

一般質問では守屋裕子議員が、東京五輪・パラリンピックの児童生徒の観戦動員および聖火リレーの中止、荒川調節池とJR川越線架け替えなどを取り上げました。

また、コロナ禍で奮闘する県職員の長時間労働問題を取り上げ、県職員体制の構築を訴え、知事は「未曾有の緊急事態とはいえ職員にこれほどの時間外勤務をさせてしまっていることに大変心苦しく思っている」と答弁しました。

今後も県民のいのちと暮らしを守るために全力を尽くしてまいります。

**県議会広報テレビ番組**

**「こんにちは県議会です」**

日曜日  
午前10時から

県議会に関するさまざまな情報を分かりやすく紹介しています。  
番組の最後にはプレゼントコーナーもあります。ぜひご覧ください！

放送予定日

主要会派代表者に聞く

主要会派代表者インタビュー 全3回	①8月22日 ②8月29日 ③9月5日
-------------------	---------------------------

常任委員会だより

各常任委員長インタビュー 全2回	①9月12日 ②9月19日
------------------	------------------

進行役  
荒木優里アナウンサー

詳しい放送スケジュールは、随時ホームページでお伝えいたします。

**請願** 採択および趣旨採択された請願は次の通りです。

- 選択的夫婦別姓制度についての意見書を国に提出することを要望する請願 …採択
- カーボンニュートラル実現に向け、再生可能エネルギーの比率を一層高める2030年エネルギー基本計画の改定をされるよう、国への意見書提出を求める請願 …趣旨採択



# 木下高志議長と岡地優副議長に聞く

## 政治家を志したきっかけをお聞かせください。

**木下議長** 政治家になる前は、自分の暮らす地域を活性化させたいという思いから、長い間真剣にまちづくりボランティアに取り組んでいました。

まちづくりボランティアに取り組んでいると、政治家の方々さまざまなところに関わってきます。そうした政治家の方々に、時には協力して



木下高志議長

ただいたり、時には励ましていただいたりしていくうちに、いつの間にか自らも政治家になって、もっと大きな視点でまちづくりに携わりたいと思うようになっていました。

**岡地副議長** 議員になる前は消防士をしていました。市民の安全に関わる仕

事にやりがいを感じていたため、もし議員の道を選ばなければ定年まで勤め上げていたと思います。

しかし、桶川市議会議員として日々奮闘していた父の姿に影響を受け、だんだんと自分自身ももっと幅広く地域の役に立ちたいという気持ちが沸き上がりました。そのことがきっかけで、政治の世界に飛び込む決意をしました。

## 座右の銘は何ですか？

**木下議長** 「一人で見ると夢はただの夢、みんなで見る夢は現実になる。」というジョン・レノンの言葉です。この言葉を座右の銘にしているのは、前向きで素敵な言葉であるだけでなく、自分への戒めの意味も込めています。

議員として活動していく中で、独り善がりの政策ではなく、みんなが賛同できるような政策を作っていかなければならないと、この言葉を胸に刻んでいます。

ポストコロナの社会構築に向けた超スマート社会「Society5.0の早期実現」や「災害に強い県土づくり」をみんなで見る夢として、現実になりたいと思っています。

**岡地副議長** 「継続は力なり」という言葉です。一つのことに粘り強くコツコツ何度も取り組むことは自分の性格にも合っていると思っており、以前からこの言葉を信条にしています。

高校時代に陸上競技で長距離をやっていたことが影響しているのだと思います。毎日少しずつでも時間を割いて練習を続けた結果、駅伝では県予選4位に入って関東大会まで進みました。その経験で、長く続けていくことの大切さを実感できたのだと思います。



岡地優副議長

## 第17回 埼玉県議会 フォトコンテスト 作品募集中!

応募締め切り

11/10  
水曜日

17:00 (必着)

▶フォトコンテスト  
募集ホームページ



どなたでもご応募いただけます！  
複数の応募も可能です！

入賞作品の中から、「埼玉県議会だより」の表紙や県議会ホームページなどに使用する写真を選ばせていただきます。

### 応募の条件

- ・埼玉県内で撮影された未発表のもの
- ・平成31年1月1日以降に撮影されたもの
- ・合成写真、組写真は不可
- ・カラー写真（セピアなどは不可）

## 一般写真部門

テーマ

**A** 埼玉の「四季」 **B** 自由(フリーテーマ)

埼玉県議会議長賞 ……2点 (A・B各1点)

埼玉県議会副議長賞 ……2点 (A・B各1点)

入選 ……14点 (A・B各7点)

A4または四つ切り(ワイド可)

※上記以外のサイズ(サービス判など)は不可

募集チラシ裏面の応募用紙(コピー可)を作品の裏に貼付して、下記送付先宛てに郵送していただくか、直接お持ちください。

募集チラシは、県議会事務局や各市町村などでお配りしているほか、県議会ホームページからもダウンロードできます。

作品送付先

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1  
埼玉県議会事務局 政策調査課 広報担当

## モバイル写真部門

テーマ

**A** 埼玉の「四季」 **B** 埼玉の「感動」

ベストショット賞 ……2点 (A・B各1点)

入選 ……4点 (A・B各2点)

特別賞 ……若干数

スマートフォンで撮影された  
2~5メガ程度の画像データ(JPEG)

下記のQRコードからメールアプリを起動し、メール本文に記載された項目を入力して、応募作品を添付して送付してください。

※県議会ホームページからもご応募できます。  
※特別賞は30歳未満の方の作品が対象です。

作品送付先

宛先: s-gikai@bz04.plala.or.jp  
件名: 県議会フォトコンテスト応募



## 第16回入賞作品



テーマA 議長賞  
「鶯の舞い」



テーマB 議長賞  
「ママと初桜」



テーマA ベストショット賞  
「水晶玉に閉じ込めた秋」



テーマB ベストショット賞  
「夏雲」

## 県議会 クイズ

Q OOに当てはまる数字は何でしょう。  
第OO回埼玉県議会フォトコンテストの  
作品を募集中です!

はがきに右記のようにご記入の上、8月25日(水)(当日消印有効)までにお送りください。正解者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。  
当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。  
対象は、埼玉県内に在住・在勤・在学している方のみとなります。

### プレゼント

A 図書カード ……20名様  
1,000円分

B 埼玉のお菓子 ……5名様  
そびあセレクト

【提供】(一社)埼玉県物産観光協会

### 埼玉県物産観光館 そびあ

埼玉県を代表するお土産を常時650種類以上販売しています。  
贈答品、引出物、記念品などにいかがですか?  
埼玉の旬の観光情報も発信しています。

〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町1-7-5  
ソニックシティビル(2階)  
10:00~18:00  
定休日: 日曜日・祝日(年末年始)  
電話: 048-647-4108



63 330-9301  
埼玉県議会事務局  
政策調査課  
県議会クイズ係

- クイズの答え
- 郵便番号
- 住所
- 通勤通学先の市町村名(県外にお住まいの方のみ)
- 氏名・年齢
- 希望するプレゼント
- 埼玉県議会だよりに関するご意見

【個人情報の取り扱い】応募はがきは、抽選とプレゼントの発送以外の目的には使用いたしません。

県議会ホームページからもご応募いただけます。



## 「メールマガジン埼玉県議会」配信中!

定例会の会期予定や議決の概要など、最新の情報をメールでお届けしています。

配信形式は、HTML版とテキスト版のほかに、情報をコンパクトにまとめたショートテキスト版の3種類です。

県議会ホームページでは、過去に発行されたバックナンバーもご覧いただけます。



▲県議会ホームページ「メールマガジン埼玉県議会」へ

## 県議会プロモーション動画配信中!

親しみのある県議会づくりを進めるためプロモーション動画を作成し、動画配信サイトYouTubeで配信しています。県議会ホームページからもアクセスできます。

また、右のQRコードを読み取っていただくことで、動画の掲載ページへアクセスいただけます。

